



川本樹吉製 泉梅一画

今、甦る 陶磁器 明治・大正

明治以降、
世界各地へ輸出された
陶磁器を中心に展示



眞葛焼 宮川香山製

横山美術館
Yokoyama Art Museum
2017.10.1 ㊦ OPEN

「今、甦る陶磁器 明治・大正」
2017年10月1日(日)～2018年1月31日(水)

【開館日】 2017年10月1日(日) 10時オープン
【開館時間】 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
【休館日】 毎週月曜日(祝・休日の場合開館、翌日休館)
年末年始・展示入替期間
【入館料】 一般1,000円(800円)
高・大学生・シニア65歳以上800円(600円)
中学生以下無料 * () 内は20名以上の団体料金





張田緑山作

明治以降の輸出陶磁器を中心に展示



名古屋はかつて、海外へ輸出される陶磁器生産の一大拠点でした。特に現在の名古屋市東区には、産地である瀬戸などに近いという好立地から、多くの陶磁器工場が立ち並んでいました。各産地から運び込まれた陶磁器に絵付けを施す、上絵付作業が発達する中で、“名古屋絵付”と呼ばれる豪華で華やかな作風は、海外でも人気を博しました。

財団法人横山美術館は、明治・大正時代に制作された輸出陶磁器の“里帰り品”を中心に展示しています。名古屋周辺で制作された輸出陶磁器をはじめ、日本初の洋風陶磁器であるオールドノリタケや、まとまった作品群を目にする機会の少ない隅田焼のほか、有田焼、京焼、瀬戸焼、九谷焼、萬古焼など、息をのむほど緻密で大胆な作品の数々を、ぜひご覧ください。



錦光山宗兵衛作



肥磔山深川造



オールドノリタケ



香蘭社製



隅田焼 原娒山作

オープン記念講演会

「明治・大正の輸出陶磁器ーその特質と魅力ー」

◎講師：大熊敏之氏（富山大学大学院芸術文化研究科教授、「開運！なんでも鑑定団」鑑定士）

◎日時：10月1日（日）13時30分～15時〈定員60名〉＊要事前申し込み、要入館料

◎申込方法：9月1日（金）10時よりお電話（052-931-0006）にて〈先着順〉

【入館料】	企画展開催時	常設展のみ開催時
一般	1,000 円（800 円）	700 円（500 円）
高・大学生・シニア 65 歳以上	800 円（600 円）	500 円（300 円）
中学生以下	無料	無料

＊（ ）内は 20 名以上の団体料金

【交通のご案内】

名古屋市営地下鉄東山線「新栄町」駅（1 番出口）徒歩 4 分
名古屋市営地下鉄桜通線「高岳」駅（3 番出口）徒歩 4 分

＊専用の駐車場はございません。
お車でのご来場の際は
近隣の有料駐車場をご利用ください。



財団法人
横山美術館
Yokoyama Art Museum

〒461-0004 名古屋市東区葵 1-1-21
TEL.052-931-0006 FAX.052-931-0008
<http://www.yokoyama-art-museum.or.jp>

次回企画展

「時と心を揺さぶるカップ&ソーサー展」
2018年2月27日（火）～7月1日（日）